

教育科目	高度サービス・マネジメントⅡ(学科)	教育内容	サービスアドバイザー				
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	47コマ	単位数	5単位
授業目標	1. 自動車整備事業の接客に必要な知識及び話法を習得する。						
授業概要	・自動車整備事業の接客に必要な知識及び話法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	3回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	1級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理						

教育科目	高度自動車概論		教育内容	自動車産業			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期 後期	授業コマ数	33コマ	単位数	3単位
授業目標	1. サービス産業、自動車整備事業、サービス役務、また、自動車の保守管理の必要性や自動車の改造等に対する対処と安全の確保について理解できる。 2. ・接客に必要な応酬話法を理解できる。						
授業概要	・世界の中の日本の自動車産業について学ぶ。 ・サービス産業、自動車整備事業、サービス役務、また、自動車の保守管理の必要性や自動車の改造等に対する対処と安全の確保について学ぶ。 ・接客に必要な応酬話法を学ぶ						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	能力構築競争 1級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理						

教育科目	高度工作作業(実習)		教育内容	手仕上げ工作、機械工作			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	(前期) 後期	授業コマ数	17コマ	単位数	1単位
授業目標	1. 自動車に使用される電気・電子回路を理解し、電子回路を製作することができる。 2. 自動車に使用される機械部品の製作を通し、作業手順、工作機械・手工具の取扱いを習得する。						
授業概要	・電子部品を使用し、回路の製作と作動点検を行う。 ・機械部品を、工作機械、手工具を使用し製作する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等							

教育科目	高度自動車整備作業Ⅳ(実習)	教育内容	電装の点検・分解・組立・調整・検査			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17コマ	単位数 1単位
授業目標	1. 自動車の電装部品の点検・分解・組立・調整・検査の方法を理解し、作業を正確かつ迅速に行うことができる。					
授業概要	・自動車の電装部品の点検・分解・組立・調整・検査を行う					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期
	評価方法 レポート、定期テスト					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						

教育科目	体験実習 I (実務実習)		教育内容	自動車の点検整備			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期 後期	授業コマ数	36コマ	単位数	2単位
授業目標	1. 車両の点検整備、記録簿の記入、納車準備を正確かつ迅速に行うことができる。 2. 作業効率の向上方法を考え、次回の作業に生かすことができる。						
授業概要	・実際の現場（認証工場）で車両の点検整備、記録簿の記入、納車準備を行う。また、作業効率の向上方法を自ら考え、次回の作業に生かせるようレポート等にまとめる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける実務実習 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を実習						
使用 テキスト等							

教育科目	体験実習Ⅱ(実務実習)		教育内容	故障原因探求			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・後期	授業コマ数	40コマ	単位数	2単位
授業目標	1. 車両の日常的な整備や高難度整備作業を通じ、故障原因探求を行い、正確かつ迅速に故障箇所の判定する方法を身につける。						
授業概要	・実際の現場（認証工場）で行われる車両の日常的な整備や高難度整備作業を通じ、故障原因探求を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける実務実習 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を実習						
使用 テキスト等							

教育科目	体験実習Ⅲ(実務実習)		教育内容	総合診断			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期 後期	授業コマ数	50コマ	単位数	2単位
授業目標	1. 総合診断（自動車整備に関する総合診断、応酬話法）の方法を身につける。						
授業概要	・実際の現場（認証工場）で総合診断（自動車整備に関する総合診断、応酬話法）の方法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける実務実習 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を実習						
使用 テキスト等							

教育科目	評価実習 I (実習)		教育内容	自動車の点検整備			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	74コマ	単位数	4単位
授業目標	1. 様々な車種の点検作業の流れを習得することができる。						
授業概要	・車種ごとに異なる点検作業の流れを確認した上で、点検作業を行う						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2回
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等							

教育科目	評価実習Ⅱ(実習)		教育内容	故障原因探求			
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	93コマ	単位数	5単位
授業目標	1. 様々な車種の確実な不具合現象の確認方法、正確かつ迅速に故障箇所の判定方法、及び正確かつ迅速な修理技術を身につける。						
授業概要	・様々な車種の故障原因探求を行い、不具合現象の確認方法、故障箇所の判定方法、及び修理技術を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2回
	評価方法 レポート、定期テスト						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等							

教育科目	評価実習Ⅲ(実習)		教育内容	総合診断			
学 科 開講学年	自動車総合学 科 4年	開講期	前期 後期	授業コマ数	170コマ	単位数	17単位
授業目標	1. 様々な作業を安全・正確かつ時間内に行うことができる。 2. 総合診断（自動車整備に関する総合診断、応酬話法）の方法を理解し、実際に行うことができる。						
授業概要	・様々な作業を、安全や正確さ、時間を意識して行う。 ・実習車・自動車部品・記録簿を使用し、総合診断（自動車整備に関する総合診断、応酬話法）を行う						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期	2回
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト 等							

教育科目	高度工業・社会Ⅱ(教養)		教育内容	学習発表会、総合体育、企業関連、国家試験対策		
学 科 開講学年	自動車総合学科 4年	開講期	前期・後期	授業コマ数	41コマ	単位数 4単位
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技能コンクールで、日頃の授業の成果を発揮することができる。 2. 協力、公正などの態度を育てると共に、健康の維持と体力の向上を図る。 3. インターンシップを通じて学んだ事や課題を発表できる。 4. 1級小型自動車整備士の資格取得に必要な学力を身につけることができる。 5. ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献することの大切さを知ることができる 					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・技能コンクールで日頃の授業の成果を発揮する。 ・整備士に必要な体力や体の使い方を体育を通して学ぶ。 ・1級小型自動車整備士の資格取得に必要な学力を身につける。ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献する。 					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1回・後期 1回
	評定方法 国家試験対策テスト、レポート等					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 自動車ディーラーにおける自動車整備士としての実務経験 自動車整備士として現場で求められる知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						